



第90回 日比谷メーデー

2019. 5. 1 日比谷公園

2019年5月1日、第90回日比谷メーデーが開催された。文京支部からも多数の仲間が参加した。現下の厳しい状況の中で闘う諸団体からの報告や決意表明がされた。本集会後、銀座界限で元気にデモ行進を行った。

礫

つづいて

発 執 編 教	行 集 育 宣	責 任 員 責 任 部	任 長 任 部
東 労 文	京 働 京	清 組 支	掃 合 部

2019年5月15日
第100号

当面の予定

◎東京清掃本部組織集会
6月2日(日)

日本教育会館

◎第二地連一泊学習会

7月6日(土)～7日(日)

埼玉屋旅館

初めてのメーデー

日比谷メーデーに参加してみても、まず感じたことは、会場の盛り上がりがすごかったということです。それは、参加者の強い気持ちと熱気が、そうしているのだと思いました。

メーデー開会時に、東京清掃の青年部である私達は壇上に上がり、歌をうたうことになりましたが、その際に会場を見渡すことができました。そこには各組織で統一した服装や、頭にハチマキをつけた姿が見られ、そこにも結束の力があるのだなと感じました。その後は各組織の演

説がありました。その中には沖縄の米軍基地問題、そして関西生コン問題の当事者の方たちも参加していて、メーデーの規模の大きさを改めて確認しました。

集会終了後は旗を持ち、日比谷公園から銀座を通り東京駅方面へ道路沿いをデモ行進しました。デモ行進の最中、重い旗を持ち、大きな声でシュプレヒコールをし続けるのは大変でした。

メーデーに参加してみても改めて、意思、意見を伝えることの大切さと、その難しさを感じました。

【砂山】



「労働者の日」としてのメーデーは、1986年5月1日に、アメリカ合衆国・カナダ職能労働組合連盟（FOTLU）（後のアメリカ労働総同盟、AFL）が、シカゴを中心に「8時間労働制要求」の統一ストライキを行ったのが起源。1日12時間から14時間労働が当たり前だった当時、「第1の8時間は仕事のために、第2の8時間は休息のために、そして残りの8時間は、おれたちの好きなことのために」を目標に行なわれた。

1988年にAFLは引き続き「8時間労働制」要求のため、1990年5月1日にゼネラル・ストライキを行うことを決定した。しかし、1986年の統一ストライキ後に「ヘイマーケットの虐殺」といわれる弾圧を受けていたため、AFL会長ゴンパースは、1989年の第二インターナショナル創立大会で、AFLのゼネスト実施に合わせて労働者の国際的連帯としてデモを行うことを要請、これが決議され、1990年の当日、ヨーロッパ各国やアメリカなどで「第1回国際メーデー」が実行された。以後も労働者の権利を主張する運動として、また、国民がその時々々の要求を掲げ団結と連帯の力を示す日として、継続・発展してきた。

東京清掃本部組織集会(日本教育会館)

2019年6月2日(日)

第二地連一泊学習会 (埼玉屋旅館)

2019年7月6日(土)～7日(日)